

# かのん

愛媛交響楽団広報誌「かのん」第20号

発行：1998年12月

編集：愛媛交響楽団金管・打楽器パート

## 増井先生インタビュー

(担当：岸、河野、村瀬)

11月22日に昼食を取りながら、第22回定期演奏会(1994.12.11)以来、4年ぶり2回目の指揮をお願いした増井先生に、インタビューさせていただきました。

Q.先生が指揮者になられたきっかけは？

A.3才からピアノをしていましたが、中学生の頃から、一人で演奏するよりは、みんなで演奏して楽しみたいという気持ちが強くなって、指揮者への道を選びました。

Q.今回の演奏曲目についてお聞かせください。

A.ブラームス 交響曲第2番

大学生の時、大編成で初めて指揮をした思い出の曲なんです。その後も、何度も指揮をしましたが、やはり印象深く、そして特別な思いを持っています。第2楽章のアーティキュレーションは特に大切にしたいですね。

モーツァルト ピアノ協奏曲第23番

海野さんからの希望で選曲しましたが、最近、田部京子さんとも共演している好きな曲の一つです。

ワーグナー 歌劇「ローエングリン」第3幕への前奏曲

中田先生との話の中で、他の2曲とのバランス(編成)などを考えて選曲しました。みんなが演奏するのに、楽しめるものを・・・ということで決定しました。

Q.指揮していただくのは2回目ですが、愛響に対する印象、忌憚のないご意見をお願いします。

A.市民オケや学生オケなど、様々な団体と演奏をしていますが、その中で、愛響とは相性がいいと思います。愛響への課題は・・・今のところ無いのではないのでしょうか？今のままでいいと思います。各セクションも充実しているし・・・。ただ、何でもそうだけれども、怠ると

すぐにダメになってしまうから、これからも日々の努力を忘れずに頑張りたいと思います。

まずは、みんなでいい演奏をして定期演奏会を成功させましょう。

言葉の端々に思いを込めたように語っていただきました。オケを一つの楽器として見ておられるのではなく、「みんなで演奏して楽しみたい」と考えて指揮者になられたところなど、改めて増井先生に対して非常に親しみを感じる事ができた有意義なインタビューでした。

## 新入団員紹介

### 「よろしくお願ひします。」

(担当：松本、花岡)

西坂 恭子 (にしざか きょうこ) さん

ヴァイオリン 職業 公務員

3年前に静岡から引越して来て愛大響に2年間籍を置いていました。社会人であり、学生との練習時間の違いなどから愛響へ入団しました。

ヴァイオリンパートに女性が多いのにびっくりしました。今まで在籍していた楽団の中で一番多いと思います。ヴァイオリンを始めたのは幼稚園の時で、自分からヴァイオリン教室に行きたいと言ったそうです。

ブラームスの交響曲第1番が好きです。ブラームスらしい波さとの悲しい旋律が泣けますね。今回、入団早々2番を演奏できるのでとてもうれしく思っています。

保子 さおり (ほし さおり) さん

ヴァイオリン 職業 薬剤師

広島大学の卒業後、今年の4月に松山へ引越して来



## 他団体活動アンケート

(担当：木林)

運営って悩みの種ですよ。どんな活動をすべきか？  
選曲は？指揮者は？はたまた予算をどうやりくりしよ  
う？団費、チケット代ってどれくらいが相場なの？・・

特に松山近辺にはアマチュアオケが少なく、情報は多  
くありません。そこで、他団体の活動内容についてアン  
ケートをお願いし、集約結果を裏面にまとめてみました。  
今後の活動に何らかの参考となれば幸いです。

結果をまとめていてつくづく感じたことは、愛響は恵  
まれているということです。

- (1) 毎回プロ指揮者を客演に招いている
- (2) 練習会場費用が無料（南海放送、東雲短大のご厚意）
- (3) 団費・ノルマが安い
- (4) 団員数が多い（特に管楽器が多いと思われ、ローテ  
ーションが可能）

また、合宿を練習に取り入れている団体が多いと感じ  
ました。管楽器の降り番などの観点から、単純に導入す  
るのは難しいかもしれませんが、他団体の合宿内容につ  
いて調査するなど、今後検討する価値があるのではない  
かと考えます。

最後に、アンケートに快く回答下さった方・団体に紙  
面を借りて感謝申し上げます。公式または個人的に返事  
をくださった方さままでしたので、万が一のご迷惑を  
考え、団体名は伏せさせていただきました。さらに、編  
集委員の乏しい人脈だけを頼りにアンケートを行ったた  
め、偏った結果になっている可能性もあり、その点ご容  
赦ください。

## 編集後記

「かのん」の編集を言い渡されたのが11月、原稿がそ  
ろったのが12月4日。同じやるならもっと早くから始め  
りゃよかった～。あーしんど。でも、金・打総力戦で何  
とか乗り切れた・・・かな？

(担当：岸、花岡、村瀬、河野、木林、松本、小西、花岡)

ました。地域に根付いた音楽  
活動をしている楽団に籍を置  
きたく愛響へ入団しました。

ヴァイオリンを始めたのは  
中学の部活動からで、10年く  
らいになります。高校時代に  
所属していた佐賀県のオーケ



ストラよりも本格的な印象です。理事会などもあって組  
織がしっかりしていると思いました。それと、入団後セ  
カンドパートで歓迎会をしてくださったのがうれしな  
かったです。

ヴァイオリン協奏曲に興味を持っています。バッハの  
「2つのヴァイオリンのための協奏曲」が大好きです。

### 菊地 誠一（きくち せいいち）さん

チェロ 職業 医師

昭和62年、愛大響に入団し  
てチェロを始めました。今春  
就職し、一人で弾いているこ  
とが多かったのですが、合奏  
の楽しみが忘れられず、入団  
しました。2年間の研修医の  
期間中なので、時間は自分の思い通りになりませんが、  
精一杯頑張りたいのでよろしくお願いします。



チャイコフスキーの「悲愴」を演奏するのが夢です。

### 原田 晃祝（はらだ あきのり）さん

ホルン 職業 教師

約10年ぶりの復団です。退  
団後も愛響の演奏を聴いて  
いて、特に最近はレベルアッ  
プしたと感じていました。北  
条から松山へ転居して時間的  
な余裕ができたので、自分も  
もう一度吹いてみたいと思っ  
て復団しました。



久しぶりでなつかしい気持ちがある反面、団員も若返  
っており戸惑いもありますが、音楽・ホルンが好きなの  
で頑張りたいと思います。

団体名	団体A (近畿)	団体B (九州)	
設立年	1983年	1990年	
常任指揮者の在・不在	不在。毎回プロ指揮者を客演	不在	ポストと か
練習内容	週1回(土曜)、本番直前は日曜も(週2回)、 合宿(年2回)	土曜または日曜の19:00~21:00(平均月3 回)、指揮者入りの時(4回くらい)土曜18:30 ~21:00十日曜9:30~12:00or16:00	基本的に 宿(年2回 中練習2回
練習場所・費用	公民館の会議室	文化センターリハーサル室 3000円+冷暖房料	
団費・演奏会のノルマ 演奏会チケット代	半年18,000円 (夫婦参加は片方が割引で12,000円)	1500円/月、20000円/演奏会 大人1000円/枚	
団員数	約50名	約40名	
定期的な演奏会の頻度	年2回	不定期(平均8ヶ月に一度)	時期(
上記以外の催し	団内演奏会、依頼演奏会(年2回程度)	毎年4月に賛助会(友の会みたいなもの)の 総会時に小演奏会	小 近隣バ
最近の演奏曲目等	1998.5.31 指揮:葦野雅彦 ブラームス/大学祝典序曲 プロコフィエフ/ロミオとジュリエット ベートーヴェン/交響曲7番 1997.10.26 指揮:森口真司 シベリウス/組曲「カレリア」 ガーシュウィン/「パリのアメリカ人」 ブラームス/交響曲第3番 1997.6.8 指揮:牧村邦彦 C独奏:吉田光志朗 ウェーバー/歌劇「オベロン」序曲 ビゼー/カルメン第1第2組曲より モーツァルト/クラリネット協奏曲 ストラヴィンスキー/バレエ組曲 [火の鳥] 1996.11.16 指揮:船曳圭一郎 モーツァルト/歌劇「魔笛」序曲 プーランク/バレエ組曲 チャイコフスキー/交響曲第5番 1996.5.26 指揮:森口真司 ラヴェル/古風なメヌエット ベートーヴェン/交響曲第8番 リムスキー=コルサコフ/交響組曲 シェヘラザード「千夜一夜物語」による 1995.11.12 指揮:川崎 聡、独唱:牧野宏子、田中 純 バーンスタイン/「キャンディード」序曲 ベートーヴェン/交響曲第5番「運命」 マーラー/子供不思議な角笛より	1998.6.13 指揮:松沼俊彦 ワーグナー/楽劇「ニュルンベルグの マイスタージンガー」第1幕への前奏曲 モーツァルト/交響曲36番「リンツ」 シューマン/交響曲第4番 1997.10.19 指揮:栂山達巳 バッハ/ブランデブルグ協奏曲第3番 レスピーギ/リュートのための古代舞曲 とアリア ラヴェル/亡き王女ののためのパヴァーヌ サウンドオブミュージック アラジン 金管・フルートアンサンブル 1997.2.16 指揮:末広誠 ブラームス/大学祝典序曲 ハイドン/交響曲第49番「受難」 ベートーヴェン/交響曲第7番 1996.1.27 指揮:栂山達巳 シベリウス/フィンランディア バッハ/管弦楽組曲第2番 ラヴェル/ボレロ 三上次郎/地元の民謡	1998.6.7 指揮:山本 モーツ ラフマ 1997.12. バーン コーブ メンテ 1997.2.1 ワイル チャイ 1996.5.1 モーツ バルト ブラー 1995.11. シベリ ビゼー カリ
会場の収容人数・使用料	約1000人	1300人	
演奏会でのエキストラ数	10~15人ぐらい	20人	
運営上の悩み	弦楽器の慢性的な不足	団員が少ないこと、技術レベル、出席率	

団体C (近畿)	団体D (近畿)	団体E (中部)
1995年	1967年	1933年
しての常任指揮者は置いていない 、団員から音楽監督を選出	不在	不在
週1回(毎週月曜18:00~21:00)、合 程度・1泊2日)および演奏会前の集 程度(日曜日)	毎週土曜18:00~21:00、たまに日曜13:00 ~16:30あり。(1~2回/月程度) 年2回合宿あり。(5/3~5、秋)	毎週木曜、月1回程度日曜に指揮者練習 (1回/半年)、1泊2日の合宿実施
	市民センター。有償(10000円程度)	生協会館(3~4万円/回)、分奏会場等複数 の部屋を同時使用、子連れ団員の練習参加 のためのベビーシッター代含む)
	2000円/月、チケット12枚/演奏会 当日指定2000円	団費2000円/月、ノルマ28000円/演奏会
63名	約115名	
定めていないが、年2回を目安	春と秋に定期演奏会	初夏と秋に定期演奏会
生対象の音楽教室(不定期) 工団からの依頼演奏(1997年6月)	年1~2回依頼演奏会あり	音楽教室(主として秋に周辺市町村にて) その他(弦楽小編成と金管アンサンブルを 主とする依頼演奏)
貴嗣 ピアノ独奏:笹岡真己子 アルト/ピアノ協奏曲第24番 ピアノ/交響曲第2番	1998.9.26 指揮:黒岩英臣 グリムカ/ルスランとリュドミラ シベリウス/交響曲第7番 チャイコフスキー/交響曲第5番	1998.9 指揮:堤俊作 Org独奏:土橋、Cl独奏:オッテンザマー ヴェルディ/[ナブッコ]序曲 ウェーバー/クラリネット協奏曲 サン=サーンス/交響曲第3番
21 指揮:山本貴嗣 スタイン/「キャンディード」序曲 ランド/バレエ音楽「ロデオ」より 4つのエピソード レスゾーン/交響曲第3番 「スコットランド」	1997.10.11 指揮:飯森範親 アルト独唱:郡愛子 マーラー/交響曲第3番	1998.5 指揮:田中良和 ピアノ独奏:迫 昭嘉 ラフマニノフ/ バガニーニの主題による変奏曲 シベリウス/クリスチアン王 シベリウス/交響曲第5番
6 指揮:山本貴嗣 交響曲第2番 コフスキー/バレエ音楽 「眠れる森の美女」より	1997.5.10 指揮:松尾葉子 ラヴェル/道化師の朝の歌 シュミット/サロメの悲劇 R.シュトラウス/英雄の生涯	1997.11 指揮:武藤英昭 スメタナ/モルダウ ブルッフ/ヴァイオリン協奏曲 チャイコフスキー/交響曲第5番
9 指揮:山本貴嗣 アルト/交響曲第26番 ーク/「ハンガリアン・スケッチ」 ムス/交響曲第2番	1996.9.1 指揮:飯森範親 ストラヴィンスキー/花火 スクリャービン/交響曲第4番「法悦の詩」 プロコフィエフ/ロミオとジュリエット	1997.6 指揮:堤俊作 Vc独奏:林峰夫 モーツァルト/後宮からの逃走 エルガー/チェロ協奏曲 ラフマニノフ/交響曲第2番
9 指揮:山本貴嗣 ウス/交響詩「フィンランディア」 小組曲「子供の遊び」 ニコフ/交響曲第1番	1996.2.17 指揮:松尾葉子 ラヴェル/マ・メール・ロワ ドビュッシー/交響詩「海」 ベルリオーズ/幻想交響曲	1996.11 指揮:渡辺一正 チャイコフスキー/ フランチェスカ・ダ・リミニ ドビュッシー/小組曲 ブラームス/交響曲第1番
	1700人 150万円	3000人
	ハーブ1名、その他2~3名。	10人程度
	技術レベル	多様な考え方がまとみにくい